

SDGsの達成に向けた重点的な取組み宣言書

作成日:	令和7年10月10日
事業者名:	株式会社 文溪堂

三側面	SDGsの達成に向けた重点的な取組み		関連するSDGsゴール (最大3つ)	実績	指標・目標	
環境	照明機器や空調設備、運搬機器等の省エネルギー型への転換、化石燃料の使用を低減する自動車への更新等を進め、当社グループが使用する化石燃料や電力の使用に起因する二酸化炭素の排出量の削減を行っています。		⑬気候変動に具体的な対策を、⑭海の豊かさを守ろう、⑮陸の豊かさを守ろう	2021年度の基準年から11%の削減を達成（2024年度）	指標	二酸化炭素の排出量
					目標	CO2排出量を2030年に2021年度比で42.0%削減し、2050年までにカーボンニュートラルを目指します。
社会	女性の管理職及び監督職の育成に向け、社内プロジェクトへの積極的な参画や、異業種交流による経験値の向上を目的とした外部セミナーへの派遣など、女性活躍を推進するとともに女性の管理職及び監督職の比率の向上を目指しています。		⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑩人や国の不平等をなくそう	2025年3月時点で25.0%	指標	管理職に占める女性労働者の割合
					目標	2030年度までに管理職に占める女性労働者の割合を35.0%まで引き上げを目指します。
経済	当社は、会社にとって最大の資産は「人」と考えており、会社を支える人材に対する社員教育の強化が不可欠と考えております。定期的に資質向上のために管理者養成講座や女性リーダー養成講座に参加しております。		⑤ジェンダー平等を実現しよう、⑩人や国の不平等をなくそう	2025年9月時点で、管理者養成講座3名、女性リーダー養成講座9名受講	指標	社外研修参加人数（累計）
					目標	2030年度までに累計で35名の社外研修参加人数受講人数を目指します。
ガバナンス	チェック					
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みが従業員に共有されており、かつ達成するための仕組みが組織内に構築されている（PDCAサイクル等）。  ＜具体的な内容を記載＞  サステナビリティに対する重点的な取組として、「教育と文化の創造」「環境への配慮」「社会との共生」を定めており、課題解決に向けて「SDGs運営委員会」を設立しました。SDGs運営委員会においては、年間約5回の委員会活動で各部署のSDGsに関わる諸活動の集約と気候変動要素に関わる課題を洗い出し、目標を数値化することで明確なビジョンを持って取り組みを進めております。また、取締役が委員長を務め、年1回以上、取締役会への活動状況の報告及び取組方針の確認を行っています。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	SDGsの達成に向けた重点的な取組みをホームページ等で対外的に公表している。  SDGsの取組み記載のページのURL： <a href="https://www.bunkei.co.jp/sdgs/index.html">https://www.bunkei.co.jp/sdgs/index.html</a>				